

流通センター駅周辺地区まちづくりの基本的考え方

平成 27 年 5 月 大田区

地区概要	ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画施設（南部流通業務団地）を始めとして物流事業所が多数集積している。 ● 南部流通業務団地では建物等の機能更新期を迎えている（一部では既に実施）。 ● （株）東京流通センターは、一定規模の展示ホールを有する。
	にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ● 青果部・花き部の取扱量が日本一を誇る大田市場が近接する。 ● 大田市場と京浜運河の間に、海上公園予定地がある。 ● 周辺に大規模公園（大森ふるさとの浜辺公園、東京港野鳥公園、城南島海浜公園等）が立地している。
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 都区部中心部の道路規制区域の外側に位置しており、緊急物資等の輸送拠点の適地である。 ● 近隣の日本自動車ターミナルと大田市場は、災害時の広域輸送基地に位置付けられている。
	交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 内陸部（大森方面）から埋立島部に至るバス路線の中継点であり、ピーク時に交通渋滞が見られる。 ● 幹線道路（国道 357 号、環状 7 号等）に近接しており、自動車でのアクセスの利便性が高い。 ● 鉄道施設として、東京モノレール「流通センター」駅及び京浜急行「平和島」駅が所在している。 ● 公有水面の水際線の有効活用等、水上輸送基地の適地である。

まちづくりコンセプト	基本方針	<input type="checkbox"/> 流通業務施設の機能更新 <input type="checkbox"/> にぎわい・観光の拠点整備 <input type="checkbox"/> 快適に移動できる環境整備 <input type="checkbox"/> 水上輸送ネットワーク等の防災機能の強化
	方向性	<input type="checkbox"/> ビジネス、にぎわい、防災の重層的な結節拠点の形成 「ビジネス」：南部流通業務団地の建替等の機能更新による更なる高度化 「にぎわい」：現物展示（大田市場等）の魅力を誰もが体感できる、にぎわいを促進する機能強化 京浜運河等の水際線を活用した、海上公園予定地や大森ふるさとの浜辺公園等を結ぶ散策路のネットワーク化 「防災」：水上輸送基地整備（災害時：緊急輸送・事業継続の拠点、平常時：観光などの利活用） <input type="checkbox"/> 交通基盤の整備 内陸部と臨海部を結ぶ「道路」「鉄道」「水運」交通の要衝としての機能強化

開発誘導方針	【土地利用】	<input type="checkbox"/> 業務利用（物流・倉庫業、卸売市場等）を前提として、多様な来街者の利用を促進する。
	【交通基盤の整備】	<input type="checkbox"/> 段階的な交通ネットワーク形成（①既存の交通路線の強化→②徒歩、自転車等路線の整備→③新交通システムの検討） <input type="checkbox"/> 多様な移動手段（鉄道、自動車、自転車、徒歩、水運など）の活用・組み合わせで、交通アクセス・利便性の向上

取り組み案	<input type="checkbox"/> 災害時及び平常時に活用できる水上輸送基地の整備 <input type="checkbox"/> 水とみどりのネットワーク形成（京浜運河から大森ふるさとの浜辺に至る散策路整備） <input type="checkbox"/> 自転車走行環境の整備（内陸部～城南島海浜公園） <input type="checkbox"/> 交通結節点機能（駅前広場、自由通路）の強化 <input type="checkbox"/> 大田市場や海上公園予定地等を活かしたにぎわいづくり
-------	--

流通センター駅周辺地区まちづくりイメージ図

